

優駿日高道!!オールひだか魅力発信パネル展 ～オンライン物産展PR・日高道PR～

別紙

◆開催場所



◆展示パネルの例



オンライン物産展ポスター



観光プロモーション動画



観光パンフレット

◆展示パネルの例

日高自動車道 パネル展

- ・日高自動車道は、苫小牧市から浦河町までの延長約120kmの高規格道路です。
- ・昭和63年に事業着手し、平成30年までに苫小牧東IC～日高厚賀IC間の約59.7kmが開通しています。
- ・現在は、静内までの区間の早期開通を目指して整備を進めており、中間の新冠までは、令和7年度に開通する予定です。
- ・また、静内から三石までの区間については、早期の事業着手を目指し、計画段階評価を進めているところです。

日高厚賀IC方面を望む



▲日高厚賀IC開通時の様子(平成30年4月21日)

「計画段階評価」とは?
国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。これは、道路の整備方針を地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。

計画段階評価の流れ

第1回 (R元12.11)	第2回 (R2.17 ~3.1)	第3回 (R2.15)	現在はこの段階です
北海道地方小委員会	北海道地方小委員会	北海道地方小委員会	対応方針の決定
地域の皆さまへアンケート	地域の皆さまへアンケート	地域の皆さまへアンケート	
審議(第2回アンケート)	審議(第3回アンケート)	審議(第4回アンケート)	
審議(第1回アンケート)	審議(第2回アンケート)	審議(第3回アンケート)	

【日高自動車道】「競走馬」の安全な輸送を支援



■日高管内は、競走馬生産頭数の全国シェア約8割を占める日本の馬産地
■競走馬の輸送中は、一般道の信号停止等のストップ&ゴーにより、競走馬が怪我をするリスクがある
■日高自動車道延伸による信号回避で競走馬輸送の安全性が向上し、競走馬への負担が軽減

信号機の回避状況
[苫小牧市～新冠の区間]
ストップ&ゴーが減少
⇒競走馬輸送時のリスクが減少

日高地域の競走馬生産状況
◆全国競走馬生産状況
生産頭数 7,556頭 (79.5%)
◆日高管内
生産頭数 3,366頭 (44.6%)

競走馬輸送における高規格道路通行状況
高規格道路通行割合
北海道 41.1% 58.9%
道外 69.8% 30.2%

北海道競走馬輸送事業共同組合
・一般道での輸送では、ストップ&ゴーによる怪我のリスクが非常に高いです。
・日高自動車道の延伸により、競走馬を安全に輸送できることが一番のメリットです。

道外競走馬トレーニングセンター調教師
・馬は非常にデリケートな動物で、長距離輸送のストレスにより水も飲みません。食事もしないことが多くあります。高規格道路の整備は馬の負担軽減に繋がります。より良いコンディションでレースに出られるようになります。

【日高自動車道】観光入込が増加、交流人口増加を支援



■日高自動車道は、日高地域の観光地やイベントへの主要アクセスルートとして利用されており、「しずない桜まつり」等の春のイベントでは、来訪者の6割以上が日高自動車道を利用して来訪
■日高自動車道の延伸により、日高地域の観光地やイベントへのアクセスが向上し、観光入込が増加、交流人口増加を支援

日高管内春のイベント来訪者のアクセス状況
日高自動車道 L=約120km
日高厚賀IC延伸区間(約59.7km)開通後(平成30年度)

日高地域の観光入込の推移
日高厚賀IC延伸区間開通後(平成30年度)

「優駿日高道!!オールひだか魅力発信パネル展」
日高厚賀IC延伸区間開通を機に日高地域の官公庁(37機関)が連携して全道規模のイベントPRを展開する等、地域全体で観光振興に力を入れ、観光客の増加を期待しています。

「優駿日高道!!オールひだか魅力発信パネル展」
日高自動車道の延伸を契機として、北海道ひだか地域の魅力・情報をメディアやイベント等で積極的に発信し、交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。